

【飛騨・高山さるぼぼ結ファンド】 株式会社スピリットに対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社が、ひだしんイノベーションパートナーズ株式会社と共同で設立した「飛騨・高山さるぼぼ結ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、本日付で、株式会社スピリット(以下、「スピリット」という)による堆肥の生産を通じた環境保全型(循環型)農業の取り組みに対し、投資実行しましたので、お知らせいたします。

環境保全型農業とは、「農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業」を言います(農林水産省 環境保全型農業の基本的考え方より)。化学肥料や農薬等の有害物質についての社会的関心は徐々に高まっており、安心安全な農作物を求める消費者の声は強くなっています。

スピリットは、飛騨地域の酪農家から牛糞を入手し、間伐材から作ったおがくずを混ぜて発酵させることで良質な堆肥を作り、地域内の有機農法を手がける農家へ販売提供しています。従来、牛糞を使用した堆肥生産は、1年程度の期間が必要で、かつ、混ぜる頻度が高いために相当な手間を要しましたが、特殊な乳酸菌入りの飼料を牛に与えることで、栄養吸収量の増加による餌の削減効果や牛舎の悪臭低減、糞内の乳酸菌の働きによる発酵期間の短縮を実現しています。今回の取り組みでは牛糞や間伐材の有効活用に経済合理性が生まれるため、酪農家、林業従事者、及び農作物生産者等が連携した持続性ある農業となることが期待されます。

大学や研究機関の調査結果からは、土壌微生物の活性化についての有意な結果が得られており、販売提供先の農家から「野菜がとともおいしくなった」、「病気になりにくい土壌になった」と好評を博しています。飛騨地域の生産者同士の相乗効果だけではなく、健康や食に関心の高い都会の人々に食べていただき、生産地に関心を寄せてもらう一つの契機とすることで、スピリットの堆肥が都会と地方をつなぐ一助となることも期待されます。

本ファンドは、飛騨地域における環境保全型農業を促進するスピリットの取り組みを後押しすべく、堆肥生産設備の増強に対して資金支援を行いました。今回の投資実行を通じて、飛騨地域の経済活性化と同地域のブランド力向上に寄与するものと期待しております。

今後も、本ファンドは、構成組合員のネットワークやファイナンスノウハウを生かし、当機構の専門人材を活用しつつ、地域資源の有効利用に資する事業への成長資金供給等を通じて、飛騨・高山の地域経済の活性化に向けて全力を挙げて取組んでまいります。

投資先の概要は以下の通りです。

企業名	株式会社スピリット
本社所在地	岐阜県高山市丹生川町大萱 1150 番地1
代表者	藤原 孝史
事業内容	堆肥・液肥製造事業

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590